実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
芳賀町	祖母井地区(上延生)	令和 3年 3月22日	令和 6年 3月21日

1 対象地区の現状

143ha	内の
農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 134ha	ケー
耕作面積の合計 38ha	内に
排作面積の合計 5ha	i
農業者の耕作面積の合計 2ha	ii
受ける意向のある耕作面積の合計 35ha	内に
受ける意向のある耕作面積の合計	内に ()

注1:23については令和2年度に実施したアンケートの回答結果です。

注2:④は、「中心経営体」の【「現状」の「経営面積」】から【「今後の農地の引受けの意向」の「経営面積」】引いた面積です。

2 対象地区の課題

五行川の西側に広がる農家住宅が点在する水田地帯において中心経営体への集約化が進んでいる地域である。今後北部 2 地区圃 場整備事業に着手してさらに集約化が進むが、将来的な作業効率を考えて農地所有者と中心経営体を結びつけていく。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の水田利用は、すでに地区内中心経営体を中心に集約化が図られているが、さらに地区内中心経営体を中心に集約化 し、不足する部分及び地区境付近などについては近隣地区からの入作ですでに地区内の中心経営体として営農している中心 経営体に農地を結びつけていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため北部2地区エリアにおいて基盤整備事業の採択を受け、次年度からの 工事着手に向けて取り組んでいくと共に、農地を結びつける際には該当する圃場周辺で営農している中心経営体へ結びつけ る。

アンケートによって農地の貸付・売買の意向が確認された農地所有者は8人となっている。随時細かい意向を確認し、農地 バンクを活用して中心経営体に結び付けていく。

土地利用型農業においては、中心経営体の中で規模拡大意欲が高い中心経営体が目標とする経営面積を達成できるよう農地 の集積を進める。

米麦等の土地利用型作物を中心に、高収益園芸作物の生産にも取り組んでいく。